

第 379 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 在宅聴取による遠隔開催
2. 番組聴取合評 [番組名] BK golf radio チームBK by 藤田寛之
[放送日時] 令和4年2月26日(土)及び3月5日(土) 8:05~8:30
[出演者] 藤田寛之、他
3. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
4. 番組審議
[番組名] BK golf radio チームBK by 藤田寛之
[放送日時] 令和4年2月26日(土)及び3月5日(土) 8:05~8:30
[出演者] 藤田寛之、他
[番組内容] JGT02012 年賞金王・藤田寛之プロ率いるチームBK が贈る珠玉のゴルフプログラム。時にはゆるく、時には本音で語る、超一流プロゴルファー同士の会話をお楽しみ下さい

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

2022年02月26日(土)

土曜日の朝8:05は枠としてゴルファーがプレーに向かう時間帯が少し遅いかもしれない。藤田プロのトークは明るく優しいため親しみやすい。専門的なことを一般的に表現できる。藤田プロのファンに向けての内容だけでなくゴルファーでなくても聞ける。ゴルフに馴染みのないリスナーでも理解できる説明を心掛けている。ジュニアゴルファー育成に貢献する意識(心技体)を自分の経験と立場から話せている。ヤマハゴルフクラブとのかかわりも所属している組織に対して配慮している。

2022年03月05日(土)

オープニングは個人の趣味や好みを理由を含めて具体的な描写をしており好意的である。ゴルフプロとして経験値が高いためパターなど道具を時代の変化に合わせて説明できる。藤田プロがゴルフに対する「こだわり」を丁寧に説明してくれるので興味深く楽しく聞ける。

加藤委員

・番組全体の雰囲気として、藤田寛之プロの落ち着いた語り口に加え、いいだまきさんの進行や応答もスムーズで、とても聞きやすい番組であった。また難波プロをはじめ、チーム BK の方々を交えたトークも軽快かつ和やかで、リスナーの立場として、その場に参加しているような雰囲気を感じる事ができた。また、土曜日の朝という放送時間ともマッチした、軽快さを持った番組であると感じた。

・2月26日の番組について。冒頭における藤田プロが Fujita マットの改良版を使っているという裏話トークは、リスナーに対して親密さを感じさせる内容で、一気にラジオの中のおしゃべりの場へ引き込まれた。また続いて、ヤマハのクラブを使い続けているという藤田プロのトークは、スポンサーとの関係をやや意識させてしまう面もあったが、浜松市・静岡県といった地域とも結びつく話題であったので違和感なく聞くことができた。また、それに続くゴルフクラブをめぐるエピソードやパター談議、クラブの開発経緯に関するトークも、ファンにとっては共感する人も多いと感じ、(朝のおしゃべりとして)楽しく聞くことができる話題だったのではないかと感じた。またゴルフクラブからヤマハの歴史に繋げ、さらにジュニアゴルフスクールの話に繋げていくのも、トークの流れとしては自然なものであった。

・3月5日の番組について。冒頭、トークの途中と思われるような箇所から番組が始まり、次第に釣りの話に収めていく構成は、リスナーに番組へ遅れて参加させた気持ちにさせることで、本番組に駆けつけて参加できた感覚を作りだしているようで面白かった。こうした演出も、この番組がリスナーとの親密な雰囲気を高めるのに貢献していると感じた。またその後のパターの話では、藤田プロがプライベートな感覚で「道具を選んでいく」トークの構成をとっており(今どきのネット動画等のトークとも通ずるものがあり)、これもファンにとっては楽しいものではないかと感じた。さらにその後、藤田プロの考えだけでなく、チーム BK の各人がそれぞれの考え方でパターを選んでいるといった話も、多様なリスナーの考えに対応する面があり、押し付け的なトークになっておらず、共感できるものであった。こうした番組進行のあり方が、本番組の和やかな雰囲気に繋がっているのではないかと感じた。

・全体を通して、藤田プロとチーム BK メンバーの雰囲気がよく伝わる良い番組だと感じた。確かにスポンサーであるヤマハさんとの関係をやや意識させてしまう箇所があるものの、藤田プロやチーム BK ファンにとっては、裏話的な話題やメンバー各人の考え方や人柄も伝わり、楽しい番組と感じられているのではないかと感じた。

一方、こうした特徴を持つ本番組の反作用として、藤田プロやチーム BK ファン以外のゴルフ関心層が、この番組をどのように評価するのか(あるいは本番組をそもそも聴取するのか)、という点は気になった。親密なファンとの繋がりを楽しむことは、ラジオ番組の特徴でもあると思うが、本番組の内容や構成自体が、新たなリスナーへの広がりという点を最初からやや欠いているようにも感じた。というのも、例えば音楽番組であれば、パーソナリティのファンでなくても音楽(楽曲)を聴く=音楽に出会う楽しみがある。しかし本番組のゴルフの語り方は、レッスン番組ではなく、またツアー情報・海外事情などの客観情報でもないため、藤田プロやチーム BK ファン以外のゴルフ関心層にどのように広がり、どのように聞かれるのかが、やや気になりました。ただしゴルフプレーヤー・ファンのツボが私にはわからないため、藤田プロやチーム BK ファン以外のリスナーでも、楽しんでもらえる内容=ツボが本番組に含まれているのであれば、この意見は杞憂でしかないと考えます。

服部委員長

番組冒頭、雑談の途中から入ってくるのが少々戸惑いましたが、2回目からはこれはこれで有りなイントロと感じました。

全体に和気あいあいなBKチームの雰囲気は、プロゴルファーの素顔トークと相まって番組の明るさを醸し出して楽しく聞けました。ファンにはたまらないのでは、と思います。

ヤマハ株式会社のゴルフクラブづくりへのこだわりの紹介や、パタークラブ選びのポイント、クラブヘッドの話、プロのこだわり使いなど、ポイントを押さえつつかつ楽しそうに話されているので、ゴルフファンはもちろんですが、プレーしない人でも面白く聞ける内容でした。次世代育成への熱い想いも共感が持てました。ゴルフと紙芝居、伝え方としてもなかなか思いつかないマッチングの妙です。

超一流プロスポーツ選手の話、それも肩の凝らないトークを聞く機会はあまりありません。音楽無しでトークだけで綴る25分間ですが、短く感じました。最後のCMも全てゴルフ関連。徹底していますね。

角田副委員長

① 2022年2月26日（土）：

・いきなり会話で始まり、3分近く経ってからオープニング・トークとなった。毎回聴いているリスナーでなければ、少し違和感を覚えると思う。

ありがちであるが、ゴルフ効果音を使わない点については、意見が分かれるところだと思う。

・誰を対象にしているのかがはっきりしない。今回はヤマハのスクール、そして子供がゴルフを始めで学ぶことについての話題が中心だった。この番組を聴いているのは、ある程度年配のゴルフ経験者と想定されるので、子供への指導、それも主として心構えの話題は関心をそそるものだったのだろうか？中には中学、高校での指導者が聴いているかもしれないが、その様な人たちにとっては物足りないと思われる。

・良く知られているマナーや精神論的な話よりも、藤田選手ならではの実践的な話、さらにはあの試合のあのショットなどの体験談の方が、リスナーは関心を持つのではないだろうか。

②2022年3月5日（土）

・番組の入りの3分間については、前回と同じ印象を抱いた。

・今回はパターがテーマとのことだったので、期待感を持った。しかし、やはり抽象的な話展開だった。「パター選びは好み」「3つの選ぶ視点」と展開したが、この番組を聴いているゴルフ愛好家にとっては、おそらくあまり参考にならなかったのではないだろうか。ゴルフのパッティングの時に心がることなど、ワンポイントアドバイスを期待していたのではないだろうか。

② 全体的な印象について：

・ありがちはゴルフ指導番組でなく、今後への期待が持てる。藤田選手の落ち着いた声はラジオに合っている。

・対象となるリスナーがはっきりしていないので、藤田選手のトークもぼやけてしまう。パターのスコッティ・キャメロンの話も、打音を聞かせるなど、「音で楽しみラジオ分組」の特性を活かしてくれたらよかった。クラブの話は「画像がない」ことを、もう少し意識しながら話すと思う。

・リスナーはゴルフ経験者が中心だと想定されるので、「悩み相談」「あの時の一打」「あのコースの攻略法」など、リスナーからの質問コーナーもあると楽しみが増えるのではないかと。静岡県はゴルフ場も多いので、こうした話題はリスナーも盛り上がるのではないだろうか。

・番組に登場する人数が多いメリットが活かされていない。番組の始まり方とともに改善の余地があるのではないだろうか。

木宮委員長

2月5日（土）に始まった新番組であり、これまでは藤田プロのゴルフ観等についての話題が中心である。今後番組が続いていくにつれて、どのように内容が変わっていくのか注目してみたい。

ターゲットがはっきりしている番組なので、スポンサーが付きやすいだけでなく、K-MIX ゴルフコンペ等のイベントとのコラボレーション、藤田プロのツアーでの活動と連動した企画等、広がっていく可能性がある番組と言える。

何気ない会話から番組が始まるのは普段着感覚で良いと思われる。25分のうち宣伝部分を除いて正味約20分。コーナー的なものや曲が無い対談形式のみで進めていくだけではいずれ飽きが出るだろう。藤田プロの話は面白い視点もあるので、これを活かしてリスナーとのやり取りやゴルフ以外のトピックについての話を聞ければとも思う。特に2月25日回で触れた子どもの教育に関する理念等については、ゴルフに限らず子育てや他の競技にも通じる内容になるのではないだろうか。ただし、複数回まとめて収録する上での制約があると思うので、収録方法の工夫も検討すべきだろう。

会社サイド 前回(第378)回では二人の掛け合いや選曲などを評価頂いた一方、ファンとの連動方法などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和4年4月5日（火） 11:00～13:00 を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信